

IR説明会資料

2015年3月期決算

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさと、おどろきを。



<http://www.seamarche.jp>



目次



2015年3月期 概要説明

- ・トピックス 3～ 5ページ
- ・決算概要 6～18ページ

中期経営計画『パワーアップ・キョクヨー2015』の総括

- ・最終年度（2015年3月期）実績と計画比 20ページ
- ・成果と課題 21ページ

新中期経営計画『バリューアップ・キョクヨー2018』の概要

- ・基本方針と目標値 23～27ページ
- ・事業セグメント別の施策 28～29ページ

2016年3月期 業績目標及び施策

- ・2016年3月期 業績目標 31ページ
- ・事業セグメント別の業績目標と施策 32～34ページ
- ・2016年3月期 投資計画 35ページ



2015年3月期 概要説明



トピックス



□ 家庭用冷凍食品部を新設 【4月】

- ▶ 家庭用冷凍食品の市場展開を加速
- ▶ 商品数 : 累計20品(平成27年3月末現在)

□ Kyokuyo (Thailand) Co.,Ltd. を設立 【4月】

- ▶ ASEAN経済共同体による域内貿易の拠点
- ▶ 商製品の輸出入、タイ国内販売と検品及び加工製造
- ▶ 資本金 : 1億200万タイバーツ
- ▶ 売上計画 : 年商48億円

□ キョクヨー秋津冷蔵(株)城南島事業所を開設 【8月】

- ▶ 同社京浜地区の庫腹を拡大し、物流部門の事業とサービスを拡充
 - 所在地 : 東京都大田区城南島2-6-1
 - 倉庫面積 : 6,461m²
 - 庫 腹 : 12,355t



トピックス



□ K&H Food Impex GmbH を設立 【8月】

- ▶ 当社グループのサプライソースを活用した相乗効果の発揮
- ▶ 欧州における販売力と競争力を高め、欧州市場での販路拡大
 - 所在地 : オーストリア共和国
 - 資本金 : 35,000ユーロ
 - 売上計画 : 年商16億円

□ 厚生年金基金代行返上益を特別利益に計上 【9月】

- ▶ 当社が加入する極洋厚生年金基金は確定給付企業年金法に基づき、平成26年9月1日付で厚生労働大臣より厚生年金基金代行部分の過去分返上が認可
- ▶ 当事業年度の特別利益として厚生年金基金代行返上益約35億円を計上



トピックス



□ クロマグロ完全養殖魚の沖出しに成功【9月】

- ▶ 極洋日配マリン(株)は人工親魚から200万粒を採卵して種苗生産を実施
- ▶ 陸上孵化場から海上の人工種苗用生簀へ完全養殖魚約1万4千尾の沖出しに成功

□ 業務用冷凍食品の出荷価格改定を公表【12月】

- ▶ コストの上昇と急激な円安の進行により、業務用冷凍食品約570品の出荷価格を改定することを発表

□ 新中期経営計画を発表【3月】

- ▶ 2015年度(2016年3月期)～2017年度(2018年3月期)の中期経営計画「バリューアップ・キョクヨー2018」を発表
- ▶ 魚に強い総合食品会社として、収益基盤の安定と変化への対応力を高め、新たな価値を創造する企業を目指す



決算概要



1. 連結損益計算書

(単位: 百万円)

	実績		前期比		当初予想	当初予想比	
	連結累計期間		(増減金額)	(増減比率)	連結累計期間	(増減金額)	(増減比率)
	2014年3月期 (前期)	2015年3月期 (当期)			2015年3月期 (当期)		
売上高	202,387	218,350	15,963	7.9%	205,000	13,350	6.5%
営業利益	2,915	2,460	△455	△15.6%	3,700	△1,239	△33.5%
営業外収益	519	674	155	—	—	—	—
営業外費用	449	1,026	577	—	—	—	—
経常利益	2,985	2,107	△877	△29.4%	3,700	△1,592	△43.0%
特別利益	1,485	3,644	2,159	—	—	—	—
特別損失	385	983	598	—	—	—	—
当期純利益	2,968	2,433	△534	△18.0%	2,300	133	5.8%

- ・当初予想：2014年5月9日に発表した2015年3月期業績予想数値
- ・売上高：水産商事と冷凍食品が伸張し、全体で前期比159億円、当初予想比133億円の増収
- ・営業利益：水産商事及び鰹・鮪の市況下落の影響などにより、全体で前期比4億円、当初予想比では12億円の減益
- ・特別利益：厚生年金基金代行返上益35億円他　　・特別損失：貸倒引当金繰入額8億円他
- ・当期純利益：前期比5億円の減益、当初予想比では1億円の増益



決算概要



2. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2014年 3月末	2015年 3月末	前期比		2014年 3月末	2015年 3月末	前期比
資産の部				負債の部			
流動資産	63,033	69,860	6,827	流動負債	41,031	46,460	5,429
受取手形及び売掛金	24,393	24,616	223	固定負債	23,357	19,406	△3,950
商品及び製品	25,596	29,463	3,867	負債合計	64,388	65,867	1,478
その他	13,043	15,780	2,736	純資産の部			
固定資産	21,286	19,076	△2,209	株主資本	20,954	22,202	1,247
有形固定資産	10,597	12,241	1,643	その他の包括利益 累計額	△1,253	447	1,701
無形固定資産	443	465	21	少数株主持分	229	420	190
投資その他の資産	10,245	6,369	△3,875	純資産合計	19,930	23,069	3,139
資産合計	84,319	88,937	4,618	負債及び純資産合計	84,319	88,937	4,618



決算概要



3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	連結累計期間		
	2014年3月期(前期) (単位:百万円)	2015年3月期(当期) (単位:百万円)	当期(連結累計期間)の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	1,910	△2,340	税金等調整前当期純利益 +47億円 減価償却費 +13億円 厚生年金基金代行返上益 △35億円 たな卸資産の増加 △42億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,900	△762	固定資産の取得 △27億円 投資有価証券の売却 +25億円 貸付金の増加 △9億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△512	3,698	コマーシャルペーパーの増加 +30億円 長期借入金の増加 +9億円
現金及び現金同等物に係る 換算差額	80	87	
現金及び現金同等物の 増減額	△422	683	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,387	4,070	



決算概要



4. 連結経営指標

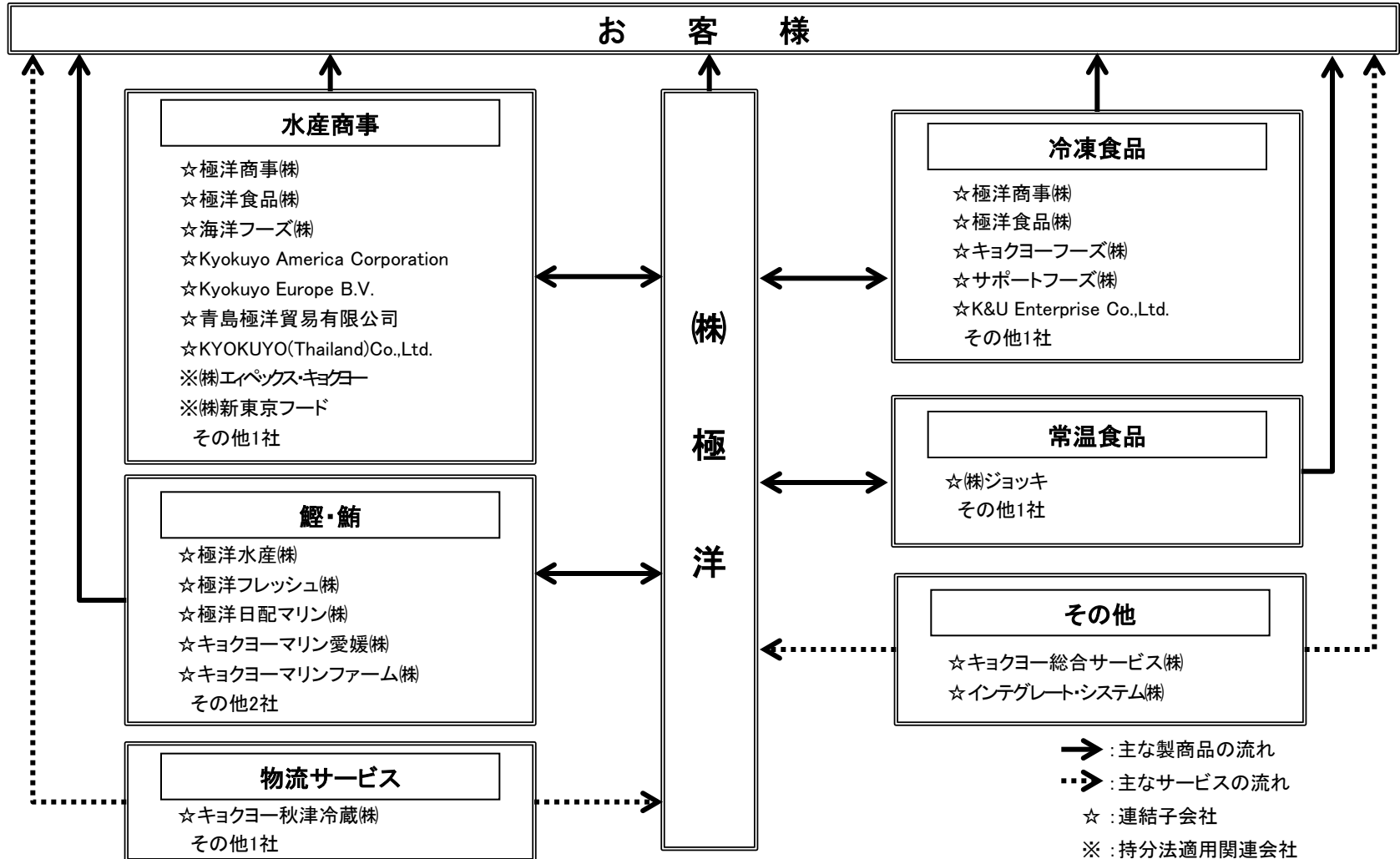
	2014年3月末	2015年3月末	前期比
純資産	19,930百万円	23,069百万円	+3,139百万円
自己資本比率	23.4%	25.5%	+2.1ポイント
商製品在庫金額	25,596百万円	29,463百万円	3,867百万円
在庫回転日数	47.8日	45.9日	△1.9日
有利子負債	425億円	473億円	+47億円
負債資本倍率(D/Eレシオ)	2.0倍	2.1倍	+0.1ポイント
自己資本利益率(ROE)	15.6%	11.5%	△4.1ポイント
総資産経常利益率(ROA)	3.6%	2.4%	△1.1ポイント
売上高営業利益率	1.4%	1.1%	△0.3ポイント
1株当たり純資産	187円57銭	215円65銭	+28円08銭
1株当たり当期純利益	28円26銭	23円17銭	△5円09銭



決算概要



5. 当社グループの状況(2015年3月末現在)





事業セグメント別の業績目標と施策

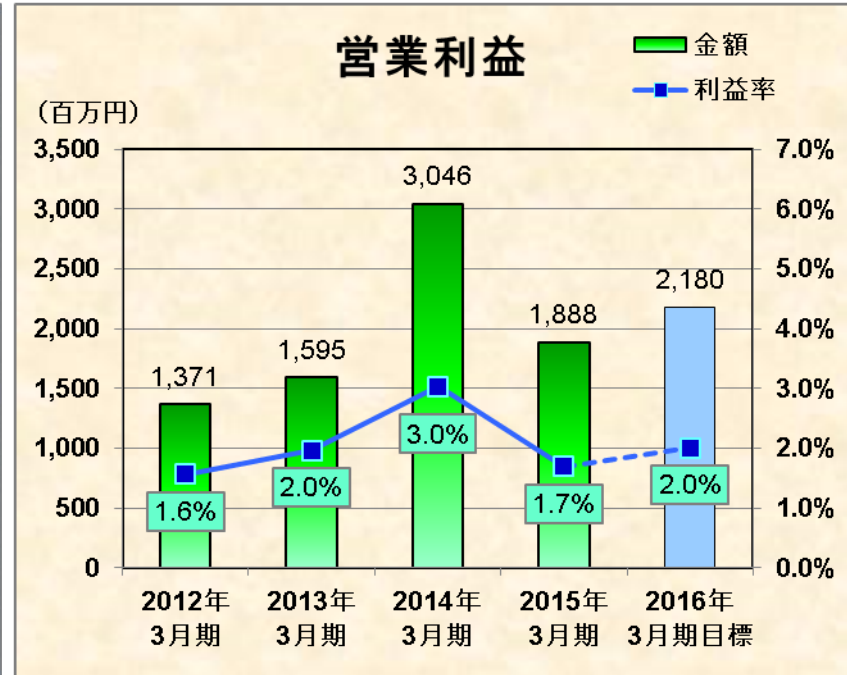
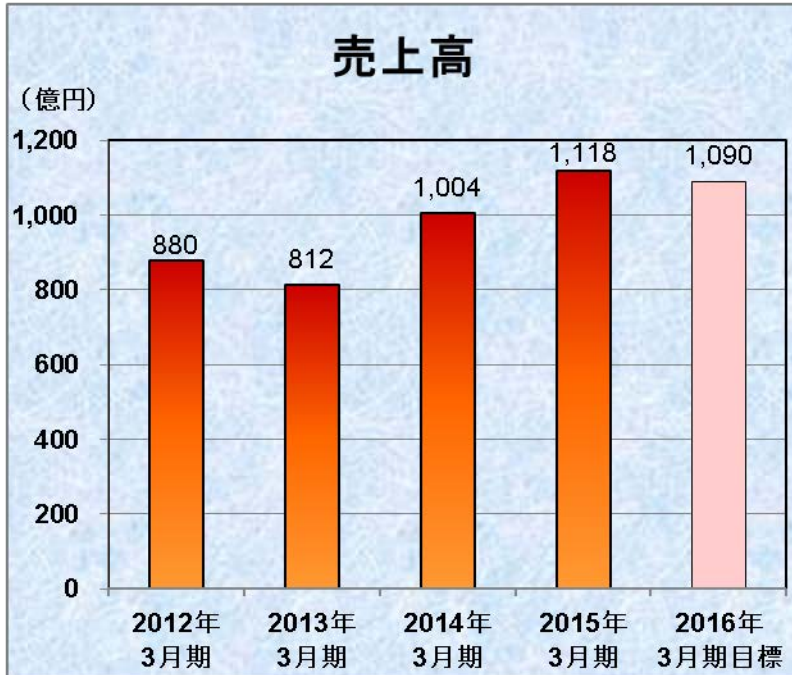


6. 事業セグメント別 売上高及び営業利益<連結>

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	連結累計期間		前期比	連結累計期間		前期比
	2014年3月期(前期)	2015年3月期(当期)		2014年3月期(前期)	2015年3月期(当期)	
水産商事	100,438	111,795	11,356	3,046	1,888	△1,158
冷凍食品	56,071	62,744	6,673	127	409	282
常温食品	17,247	17,478	231	46	306	260
物流サービス	3,031	3,148	117	26	148	121
鯉・鮪	25,525	22,855	△2,670	582	△12	△594
その他	72	327	255	△914	△280	633
合計	202,387	218,350	15,963	2,915	2,460	△455

(1) 水産商事事業<連結>…水産物の買付及び販売



【当期の状況】

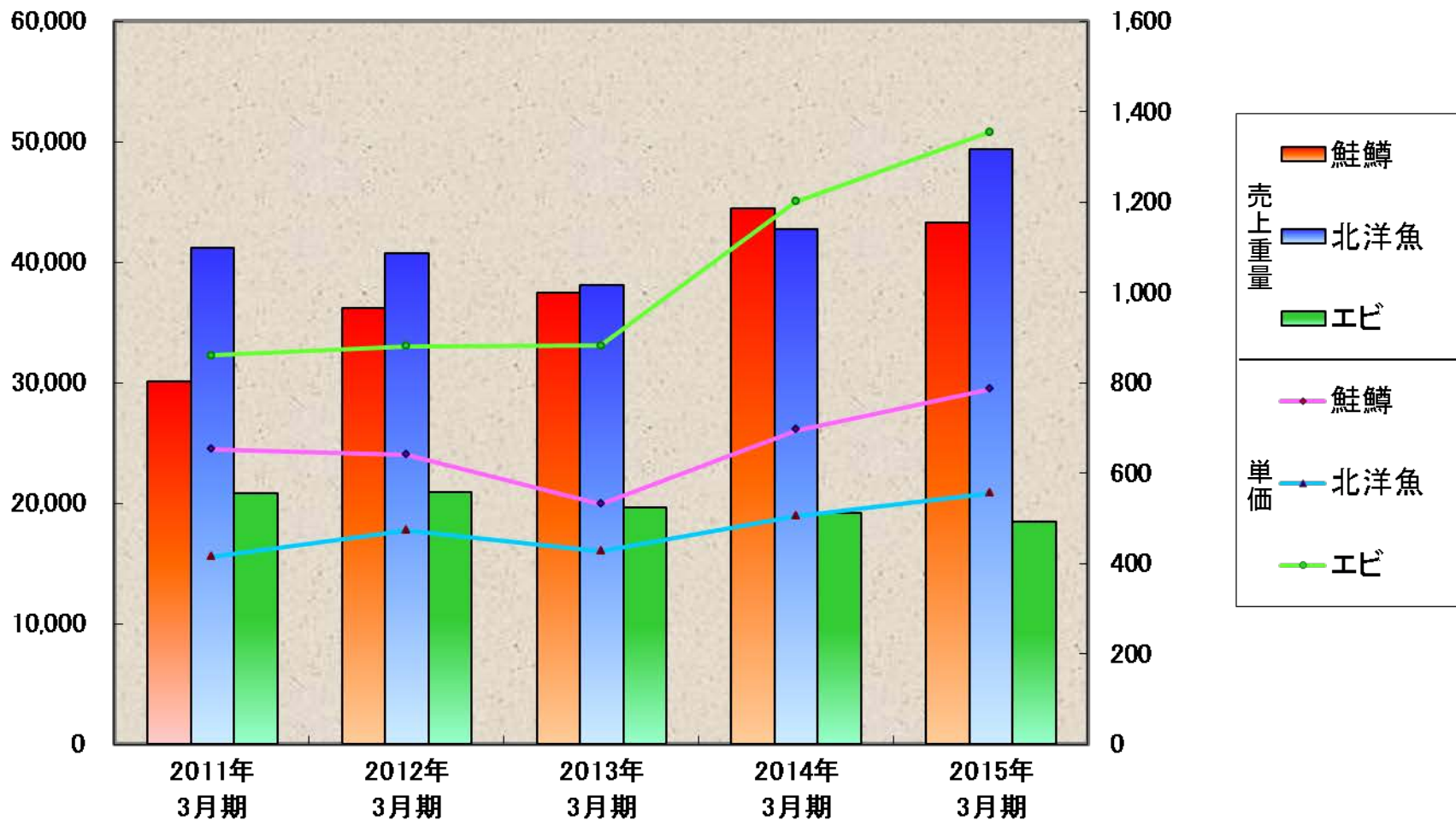
- 増収
- 北洋魚、鮭鱒、かにの順調な取り扱い
 - 有力サプライヤーからの安定供給
 - 加工戦略とのシナジー

- 大幅減益
- 円安進行による市況変動
 - 原材料高による利益率の低下
 - 加工コストの上昇
 - 下半期の鮭鱒市況下落

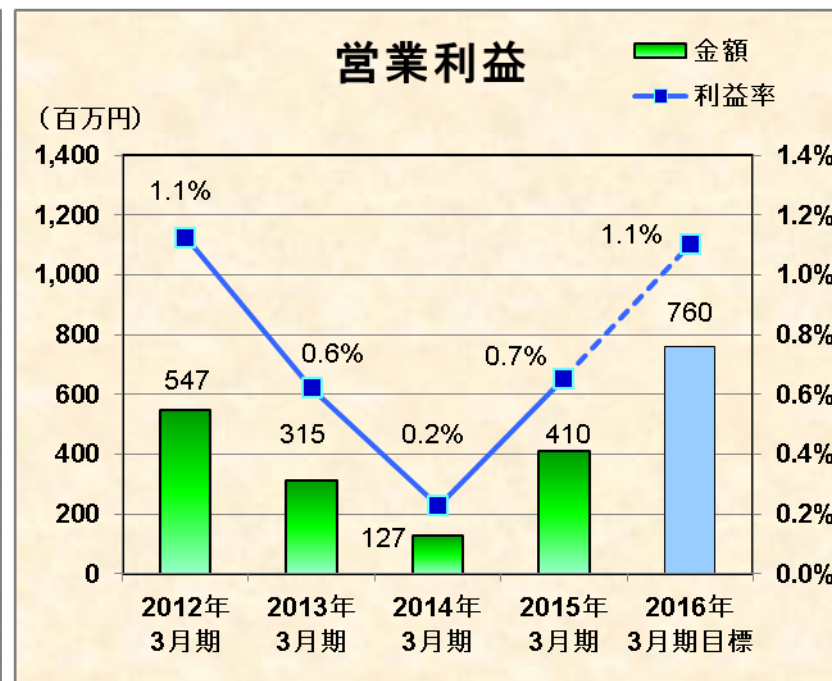
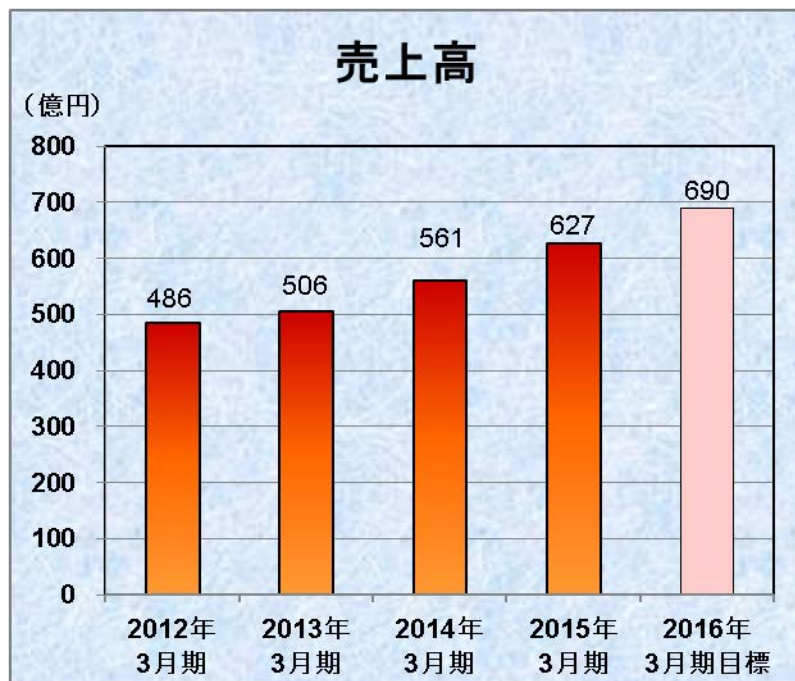
水産商事事業〈個別〉…魚種別売上重量・単価推移

(単位:トン)

(単位:円/kg)



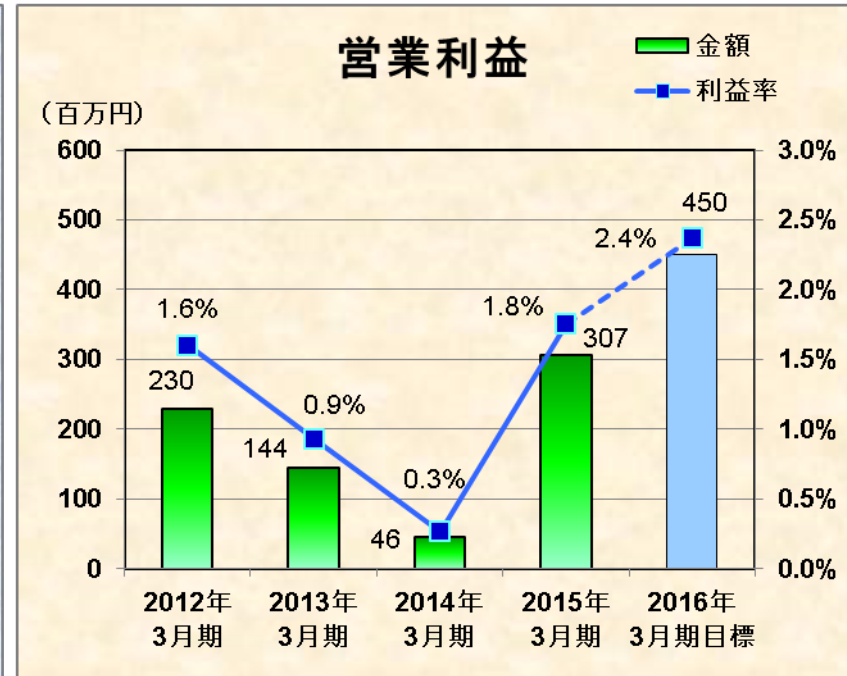
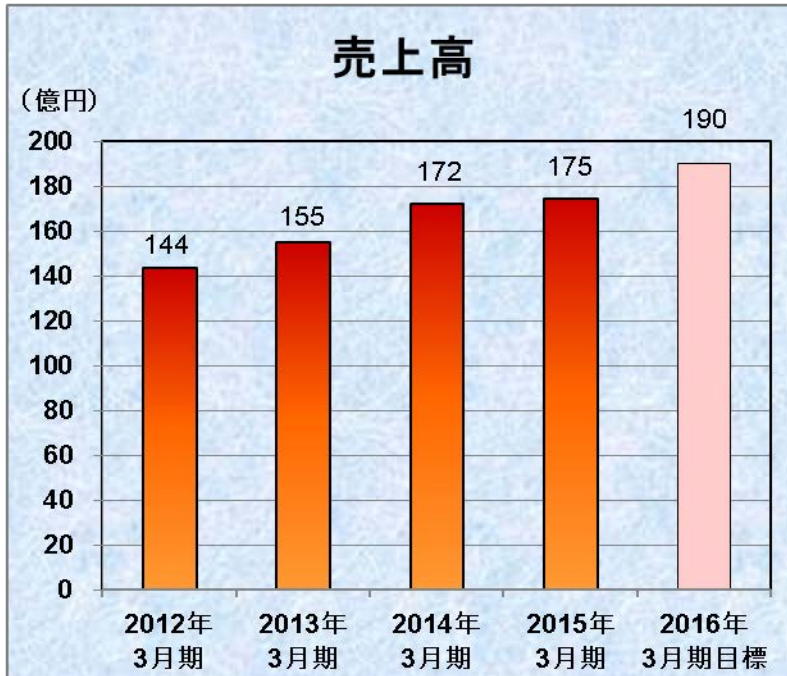
(2) 冷凍食品事業<連結>…冷凍食品の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収増益
 - 寿司生食用商材を順調に拡販
 - 「だんどり上手」シリーズを中心とした切身、焼き魚等の加熱用商材も順調
 - エビフリッター販売不振の一方、調理品主力の白身フライが好調に推移
 - かに風味かまぼこ「オーシャンキング」の販売が伸長
 - 家庭用冷凍食品の有力量販店などへの販売店舗数を拡大中

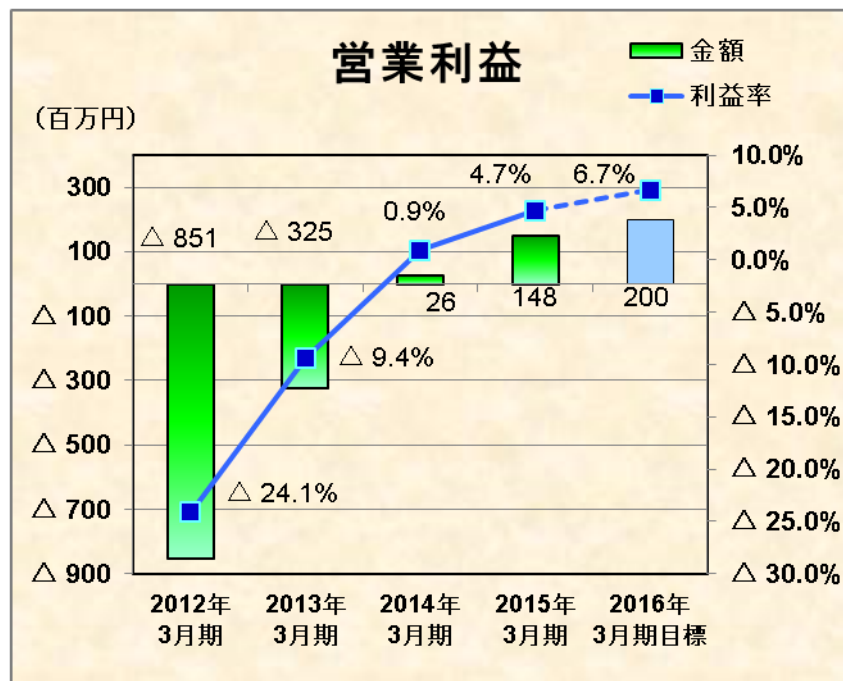
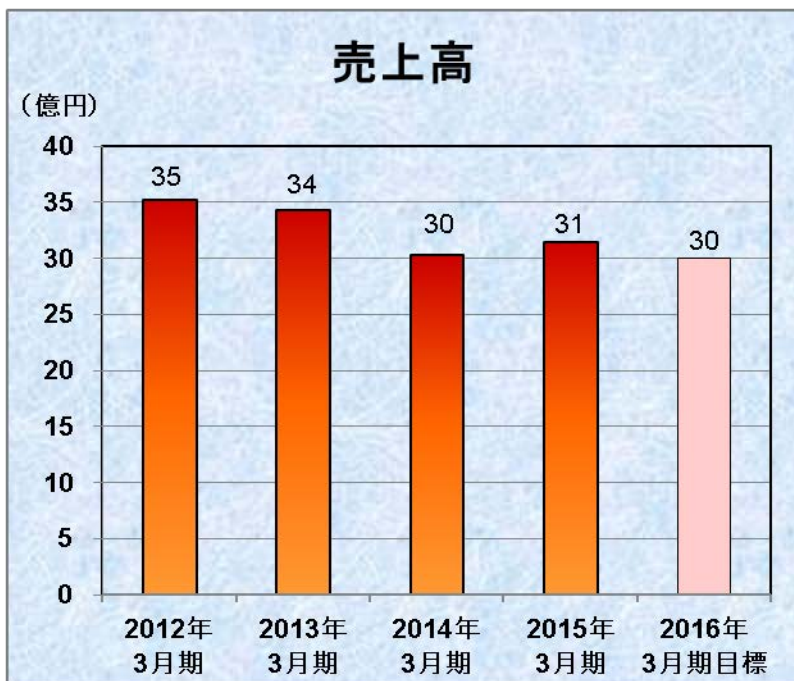
(3) 常温食品事業<連結>…缶詰・珍味製品他の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収増益
 - 原料価格高騰による価格改定や規格変更等のコストアップ対策を実施
 - 前期比では増収となったが、自主回収、クレーム処理等により商談が一時停滞
 - CVS向けPB商品や海産珍味類の販売が順調に推移し利益率が向上

(4) 物流サービス事業<連結>…冷蔵倉庫事業・冷蔵運搬船事業



【当期の状況】 □ 増収増益

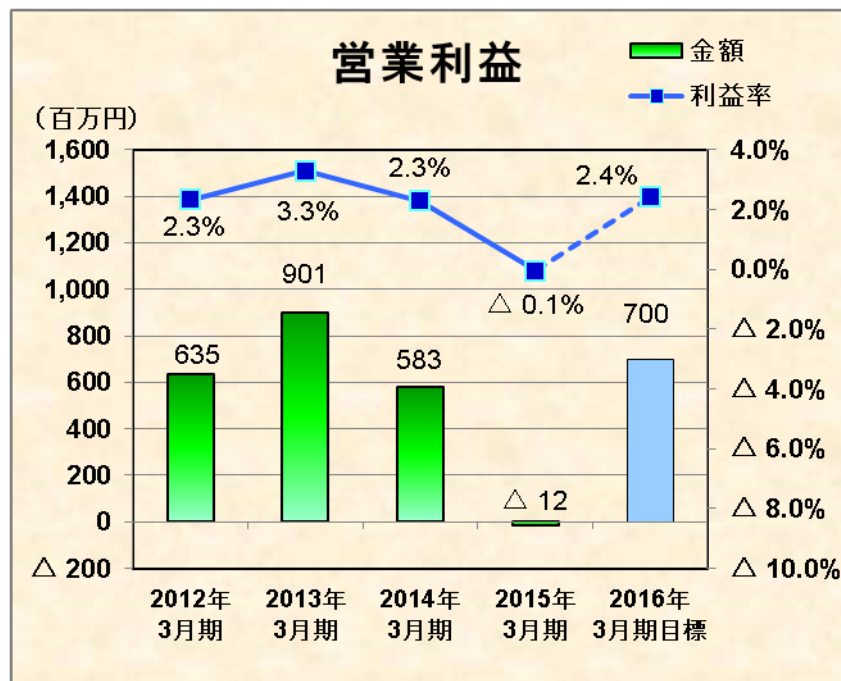
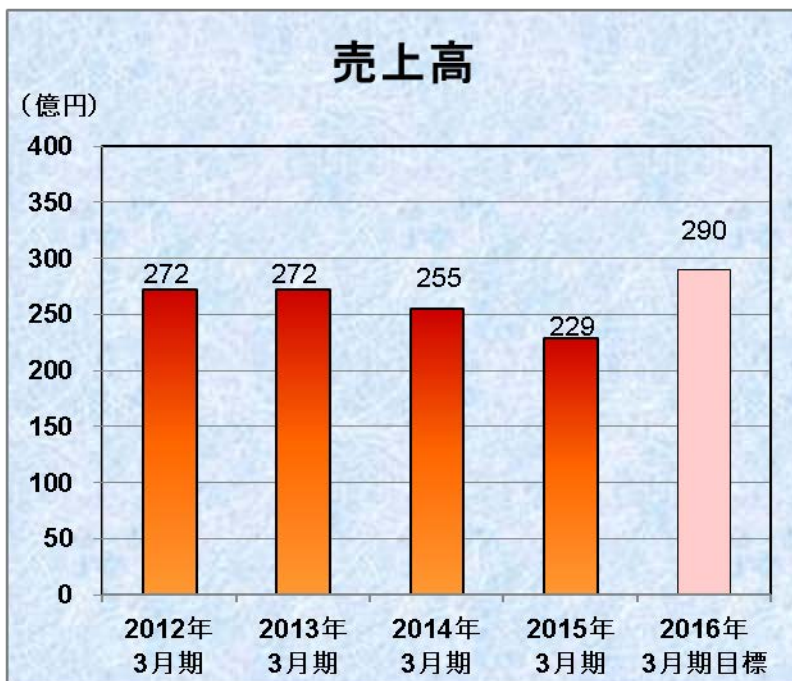
《冷蔵倉庫事業》

- 新設した城南島事業所が売上増に貢献
- 再保管貨物の集荷へ取り組み強化
- 畜産品で新規貨物の取り扱い増

《冷蔵運搬船事業》

- スリム化された船隊の年間契約による効率的な運航で収益が安定

(5) 鰹・鮪事業<連結>…海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工販売事業



【当期の状況】 □ 減収減益

《海外まき網事業》 ➤ 魚価の下落により減益

	前期	当期	前期比
水揚げ重量(千トン)	32	31	△1
水揚げ金額(億円)	61	54	△6
単価(円/kg)	188	174	△14

《養殖事業》

- 種苗の仕入ルート新規開拓
- 品質の維持、向上

《加工販売事業》

- 赤身商品の収益不足
- 回転寿司大手取引先の取扱減



決算概要



7. 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比		当初予想	当初予想比	
	2014年3月期 (前期)	2015年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)	2015年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)
売上高	192,026	212,086	20,059	10.4%	193,000	19,086	9.9%
営業利益	2,471	1,894	△577	△23.3%	2,700	△805	△29.8%
経常利益	2,546	2,042	△504	△19.8%	2,600	△557	△21.4%
当期純利益	1,806	2,139	333	18.4%	1,600	539	33.7%

- ・当初予想：2014年5月9日に発表した2015年3月期業績予想数値
- ・売上高：水産商事と冷凍食品が伸長し、全体で前期比200億円、当初予想比190億円の増収
- ・営業利益：水産商事の市況下落などにより、全体で前期比5億円の減益、当初予想比でも8億円の減益
- ・当期純利益：前期比3億円、当初予想比5億円の増益



中期経営計画 『パワーアップ・キョクヨー2015』の 総括



最終年度(2015年3月期)実績と計画比



売上高は当初計画を上回るも、利益は目標未達となり再挑戦

	計 画	実 績	計 画 比
売上高	2,000億円	2,183億円	183億円
営業利益	50億円	24億円	△25億円
自己資本利益率(ROE)	10%	11.5%	+1.5ポイント
自己資本比率	30%	25.5%	△4.5ポイント
有利子負債資本倍率(D/Eレシオ)	2倍以内	2.1倍	+0.1ポイント



成果と課題



基本方針	加工戦略	グローバル戦略	シナジー戦略
成果	市販商品ブランド「シーマルシェ」発表 「だんどり上手」シリーズ発表 家庭用冷凍食品に参入 新工場建設に着工 フードディフェンスの推進	海外販売拠点の拡充 海外加工拠点の拡充 ホタテの輸出拡大	M&Aによる事業基盤拡充 まき網事業と常温食品の協業 水産冷凍食品事業の強化
課題	環境変化やコスト上昇への対応力 高付加価値商品による差別化	世界的な水産物需要への対応 カントリーリスクの拡大	グループ総合力の更なる強化 グループ外とも相乗効果を発揮



新中期経営計画 『バリューアップ・キョクヨー2018』の 概要

1. 事業を取り巻く環境

経済・社会情勢

- 中国や東南アジアなど新興国の経済発展
- アベノミクス成長戦略や東京五輪に向けた意識高揚
- 人口減少と高齢化による労働力不足や国内消費の縮小
- ガバナンスや企業価値、株主価値などの経営評価

水産・食品業界

- 水産資源に対する管理強化
- 世界的な水産物需要の拡大
- 輸入コストや商品価格の上昇
- 社会的要請としての食品表示への対応



基本方針と目標値



2. 基本方針

魚に強い総合食品会社として、
収益基盤の安定化と変化への対応力を高め、
新たな価値を創造する企業を目指す

東京五輪開催年度となる2021年3月期に向けた中間地点と位置付け、
『グローバル戦略』、『シナジー戦略』を更に進化させるとともに、お客様
目線を意識した付加価値商品を提供するため、新たに『差別化戦略』を
加え、目標達成に向けて取り組んでまいります。



基本方針と目標値



3. 三つの戦略

『グローバル戦略』

- 国内マーケットの更なる拡大と海外販売戦略の強化
- 海外生産拠点の分散と拡大

『シナジー戦略』

- 調達から加工、販売までのグループネットワーク
- グループ企業間の相互補完
- 総合力を発揮し全体規模の拡大と利益の最大化

『差別化戦略』

- お客様目線を意識した付加価値商品の開発と差別化
- 「安心、安全、おいしい、健康」をキーワードに新たな価値を提供



基本方針と目標値



4. 新中期経営計画の最終年度(2018年3月期)目標値

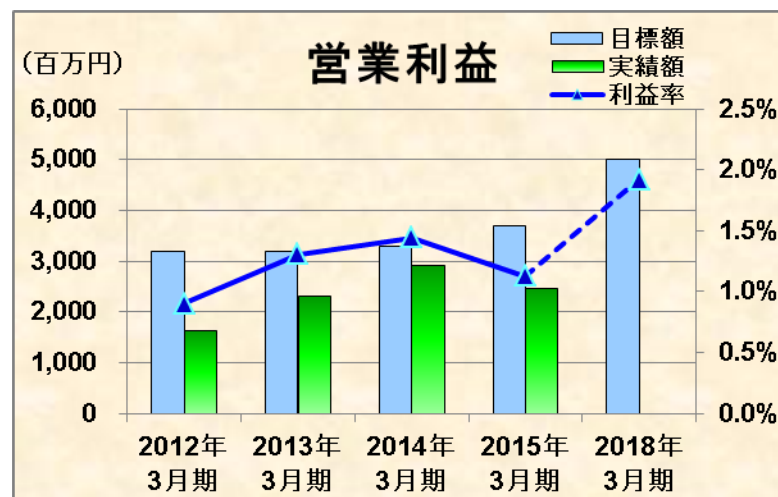
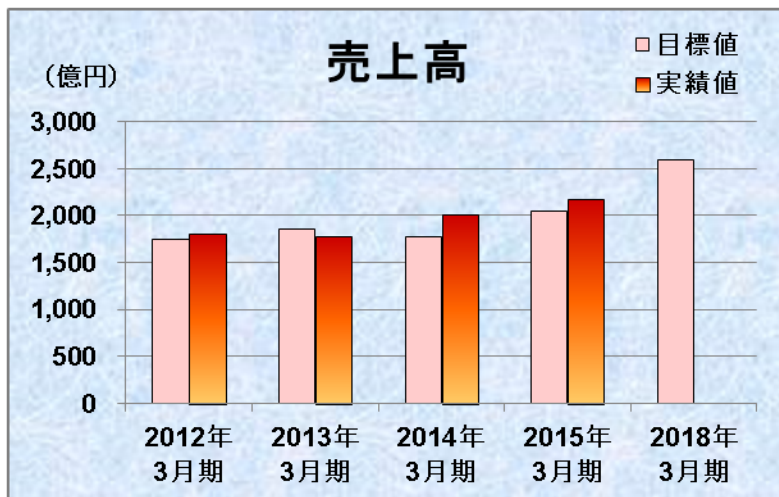
売上高	2,600億円
営業利益	50億円
海外売上高比率	10%
自己資本当期純利益率(ROE)	10%超
自己資本比率	30%
有利子負債資本倍率(D/Eレシオ)	2倍以内
配当性向	20~30%

5. セグメント別目標値

(単位:億円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	鰹・鮪	その他	合計
売上高	1,220	820	200	330	30	2,600
営業利益	24	10	5	11	0	50

6. 指標の推移



【水産商事セグメント】

- サプライヤーとの持続的な関係強化
- 質の高い水産物の安定供給と取扱い魚種の拡大
- 付加価値商品の製造と販売
- 海外拠点の拡充と海外マーケットの積極的開拓

【冷凍食品セグメント】

- 家庭用冷凍食品の規模拡大
- 海外生産拠点の分散と拡大による最適化
- 塩釜新工場による付加価値商品の製造と販売



極洋食品(株) 塩釜工場 完成予想図 平成27年12月竣工予定

【常温食品セグメント】

- 独自性のある商品開発力と提案力の向上
- ECサイトの積極的な活用
- 効率的生産体制の構築によるアイテムの充実

【鯉・鮪セグメント】

- 生産拠点の整備拡充と海外への販路拡大
- 海外まき網船の効率的運航と付加価値製品の生産
- 「本鮪の極」のブランド力強化
- クロマグロ完全養殖の事業化に向けた安定供給体制の構築

【物流サービスセグメント】

- 安定貨物の確保と収益の拡大
- 物流事業の再構築によるコスト削減と事業拡大
- 冷蔵運搬船の年間契約航路確保による安定収益の維持



2016年3月期 業績目標及び施策



2016年3月期 業績目標



1. 連結業績目標

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 目標	前期比	
			(増減金額)	(増減比率)
売上高	218,350	229,000	10,649	4.9%
営業利益	2,460	3,600	1,139	46.3%
(営業利益率)	(1.1%)	(1.6%)	(+0.5%)	—
経常利益	2,107	3,500	1,392	66.0%
(経常利益率)	(1.0%)	(1.5%)	(+0.5%)	—
当期純利益	2,433	2,200	△233	△9.6%

2. 個別業績目標

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 目標	前期比	
			(増減金額)	(増減比率)
売上高	212,086	219,000	6,913	3.3%
営業利益	1,894	2,800	905	47.8%
(営業利益率)	(0.9%)	(1.3%)	(+0.4%)	—
経常利益	2,042	2,600	557	27.3%
(経常利益率)	(1.0%)	(1.2%)	(+0.2%)	—
当期純利益	2,139	1,700	△439	△20.6%



事業セグメント別の業績目標と施策



3. 事業セグメント別業績目標<連結>

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2015年3月期 実績	2016年3月期 目標	前期比	2015年3月期 実績	2016年3月期 目標	前期比
水産商事	111,795	109,000	△2,794	1,888	2,180	291
冷凍食品	62,744	69,000	6,255	409	760	350
常温食品	17,478	19,000	1,521	306	450	143
物流サービス	3,148	3,000	△148	148	200	51
鯉・鮪	22,855	29,000	6,144	△12	700	712
その他	327	0	△327	△280	△690	△409
合計	218,350	229,000	10,649	2,460	3,600	1,139

4. 事業セグメント別施策

【水産商事セグメント】

- 質の高い水産物の安定供給を維持
- 付加価値商品の開発と販売ルートの開拓
- 精度の高い適時適量買付と在庫管理の徹底

【冷凍食品セグメント】

- 生食・寿司種商材の有カユーザーとの取り組み強化
- 「だんどり上手」シリーズを中心とした切身加工品の売上拡大
- 直系工場の稼働率向上と新工場の円滑な立ち上げ
- 家庭用冷凍食品の導入店舗数伸長とリピート率向上による拡販

【常温食品セグメント】

- 価格の適正化推進と高付加価値商品の開発
- 業務用販売ルートの再構築
- 国内外の協力工場と連携し生産管理体制を強化

【鰹・鮪セグメント】

- オーストラリア南鮪や地中海本鮪の取り扱い拡大
- 海外まき網事業の効率的操業と漁獲物の有効活用
- 国内外加工拠点の整備拡充と付加価値商品の生産
- 本鮪養殖事業の規模拡大と完全養殖事業の推進

【物流サービスセグメント】

- 冷蔵倉庫のグループ内運送事業集約による業務効率とサービスレベル向上及びスケールメリットによるコスト削減
- 冷蔵運搬船の長期契約獲得と安定航路の維持

設備投資計画表

	概要	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画
極 洋	新工場建設関連	14億円	37億円
	生産工場関連	2億円	1億円
	研究所関連	0億円	1億円
	養殖事業海上	0億円	1億円
	IT関連その他	3億円	5億円
	計	18億円	45億円
関係会社	生産工場関連	5億円	11億円
	まき網事業関連	4億円	6億円
	養殖事業海上	1億円	1億円
	IT関連その他	2億円	1億円
	計	12億円	19億円
合計		30億円	64億円



本資料は、2015年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。